

水稲の7月上旬の巡回調査結果の概要

【東北信】

調査日 7月1日、2日、3日、4日

＜東北信地域の巡回調査ほ場：東信15ほ場、北信14ほ場、計29ほ場＞

1 葉いもち

東信地域の1ほ場で発生がみられ、東信地域の発病株率は平年と比べ高かった。

なお、北信地域の巡回調査ほ場では、発生はみられなかった。

2 紋枯病

巡回調査ほ場では、発生はみられなかった。

3 縞葉枯病

(1) 東信地域の2ほ場、北信地域の1ほ場で発生がみられた（写真2）。

(2) 平均発病株率は、東信地域では平年と比べ低かったが、北信地域では平年と比べ高かった。



写真2 縞葉枯病(千曲市)

4 ウンカ類・ツマグロヨコバイ

(1) ヒメトビウンカの成虫

ア 本田すくい取り調査（ネット20回振；以下同一）では、東信地域7ほ場、北信地域9ほ場で捕獲された。

イ 成虫の平均捕獲頭数は、東信地域、北信地域ともにやや多かった。

(2) セジロウンカ及びトビイロウンカの成虫

本田すくい取り調査（ネット20回振；以下同一）では、捕獲されなかった。

(3) ツマグロヨコバイの成虫

ア 本田すくい取り調査（ネット20回振；以下同一）では、東信地域3ほ場、北信地域3ほ場で捕獲された。

イ 平均発生地点率は、東信地域では平年と比べ高く、北信地域では平年並であった。

5 イネドロオイムシ（イネクビホソハムシ）

(1) 幼虫による食害は、東信地域7ほ場、北信地域4ほ場で発生がみられた。

(2) 平均被害度は、東信地域では平年と比べやや高かったが、北信地域では平年と比べやや低かった。なお、被害はほ場差が大きく、被害度19%のほ場がみられた。

6 斑点米カメムシ類

(1) アカヒゲホソミドリカスミカメの成虫

ア 本田すくい取り調査（ネット 20 回振；以下同一）では、東信地域、北信地域ともにアカヒゲホソミドリカスミカメが主であり、東信地域 13 ほ場、北信地域 11 ほ場で捕獲された。

イ 平均発生地点率は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ高く、また平均捕獲頭数は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ多かった。

(2) 斑点米カメムシ類全体では、発生地点率は東信地域、北信地域ともに平年と比べ高かった。また、平均捕獲頭数は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ多かった。

7 イナゴ・クサキリ・ササキリ類

(1) イナゴ

ア 本田すくい取り調査（ネット 20 回振；以下同一）では、東信地域 8 ほ場、北信地域 8 ほ場で捕獲された。

イ 発生地点率は、東信地域、北信地域ともにほぼ平年並であった。

ウ 平均捕獲頭数は、東信、北信地域とも平年と比べ少なかった。

(2) クサキリ・ササキリ類

ア 本田すくい取り調査（ネット 20 回振；以下同一）では、東信地域 9 ほ場、北信地域 6 ほ場で捕獲された。

イ 平均発生地点率は、東信地域、北信地域とも平年と比べ高かった。

ウ 平均捕獲頭数は、東信地域では平年と比べやや少なかったが、北信地域は平年並であった。

8 フタオビコヤガの幼虫

ア 本田すくい取り調査（ネット 20 回振；以下同一）では、東信地域 2 ほ場、北信地域 1 ほ場で捕獲された。

イ 平均発生地点率は、東信地域では平年と比べ高かったが、北信地域では平年と比べやや低かった。

ウ 平均捕獲頭数は、東信地域、北信地域ともに平年と比べやや多かった。

【中南信】

調査日 7月3日、4日、5日、6日

＜中南信地域の巡回調査ほ場：南信 15 ほ場、中信 18 ほ場、計 33 ほ場＞

1 葉いもち

南信地域の 1 ほ場で発生がみられ、南信地域の発病株率は平年と比べ高かった。

なお、他に巡回調査ほ場 2 か所で病斑を確認した（調査外、写真 2）。



写真 2 イネいもち病（葉いもち）病斑（木曾町）

2 紋枯病

巡回調査ほ場では、発生はみられなかった。

3 縞葉枯病

巡回調査ほ場では、発生はみられなかった。

4 ウンカ類・ツマグロヨコバイ

(1) ヒメトビウンカの成虫

ア 本田すくい取り調査（ネット 20 回振；以下同一）では、南信地域 9 ほ場、中信地域 5 ほ場で捕獲された。

イ 成虫の平均捕獲頭数は、南信地域で平年と比べやや多く、中信地域で少なかった。

(2) セジロウンカ及びトビイロウンカの成虫

本田すくい取り調査では、捕獲されなかった。

(3) ツマグロヨコバイの成虫

ア 本田すくい取り調査では、中信地域 3 ほ場で捕獲された。

イ 平均発生地点率は、南信地域では平年と比べ低く、中信地域ではやや低かった。

5 イネドロオイムシ（イネクビホソハムシ）

(1) 幼虫による食害は、中信地域 1 ほ場でみられた。

(2) 中信地域の平均被害度は、平年と比べやや低かった。

6 斑点米カメムシ類

(1) アカヒゲホソミドリカスミカメの成虫

ア 本田すくい取り調査では、南信地域 6 ほ場、中信地域 9 ほ場で捕獲された。

イ 平均発生地点率は、南信地域、中信地域ともに平年と比べ高く、また平均捕獲頭数は、南信地域、中信地域ともに平年と比べ多かった。

(2) 斑点米カメムシ類全体では、発生地点率は南信地域、中信地域ともに平年と比べ高かった。また、平均捕獲頭数は、南信地域、中信地域ともに平年と比べ多かった。

(3) その他

ア 本田すくい取り調査において、ホソハリカメムシ成虫が中信地域の 5 ほ場で捕獲された。平均発生地点率は平年より高く、平均捕獲頭数が多かった。

イ 本田すくいと調査において、アカスジカスミカメ成虫が中信地域の 4 ほ場で捕獲され、うち 3 ほ場では幼虫も捕獲された。また、いずれのほ場も本田内にイヌホタルイが多く発生していた（写真 3）。なお、この時期の巡回調査において本田内で幼虫が捕獲されたのは初めてである。

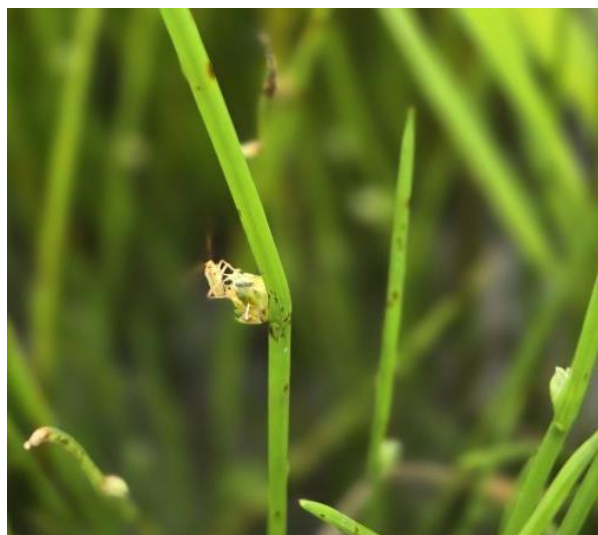


写真 3 イヌホタルイの花に寄生するアカスジカスミカメ（安曇野市）

7 イナゴ・クサキリ・ササキリ類

(1) イナゴ

ア 本田すくい取り調査では、南信地域 5 ほ場、中信地域 13 ほ場で捕獲された。

イ 発生地点率は、南信地域、中信地域ともに平年と比べ低かった。

ウ 平均捕獲頭数は、南信地域、中信地域ともに平年と比べ少なかった。

(2) クサキリ・ササキリ類

ア 本田すくい取り調査では、南信地域 5 ほ場、中信地域 13 ほ場で捕獲された。

イ 発生地点率は、南信地域で平年と比べ少なく、中信地域で多かった。

ウ 平均捕獲頭数は、南信で平年並み、中信地域で平年と比べ多かった。

8 フタオビコヤガの幼虫

本田すくい取り調査では、捕獲はなかった。